



2012.4

SOE環境教育出前授業報告

「飲料水の現実を見つめる 子どもたちの確かな感性・ 多様な意見」

環境学習

「ペットボトルの水」

赤塚新町小6年 2/13

徳丸小6年 3/15

- 「なるべくペットボトルの水は買わないようにする。理由は、安全検査が水道水の方が多くとゴミを減らすため。」
- 「水筒を使う。お金とゴミを減らす。」
- 「両方とも安全な方を飲む。安全性が大事だから。」
- 「飲み水のことを広報していきたい。水道水がおいしくて、値段、安全検査がされているから。」



徳丸小6年生 授業

この授業では、4つの視点から、水道水との比較を行っている。

1つ目、おいしさ 2つ目、安全性 3つ目、値段 4つ目 環境への負荷 である。まず実際に両方の水を銘柄を言わず飲み比べ、おいしさを比べてみた。結果は おいしいと感じた人
—徳丸小 水道水49人 仏産ペットボトル水41人 どちらも同じ 11人。
—赤塚新町小 水道水27人 仏産ペットボトル水10人どちらも同じが7人。2校とも水道水が軍配をあげ、これまでの同プログラムの実施の中でも驚く結果であった。

子どもたちが思考、判断した結果を紹介する。(次頁へ続く)



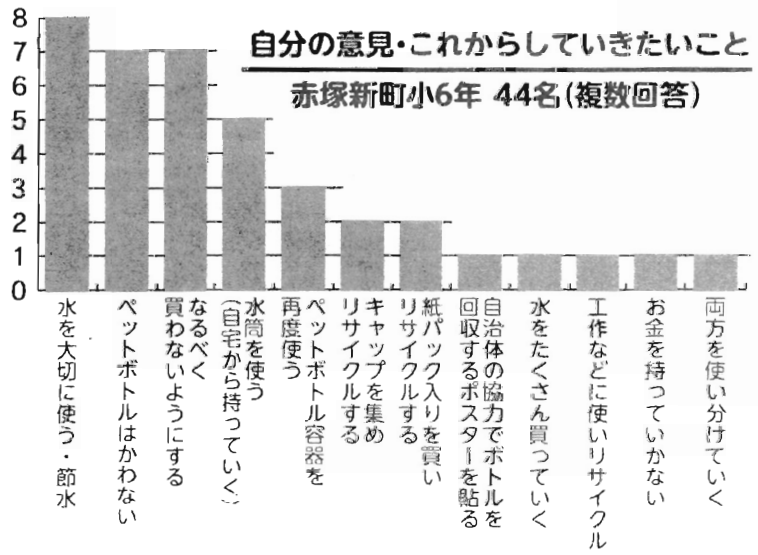
赤塚新町小6年生授業

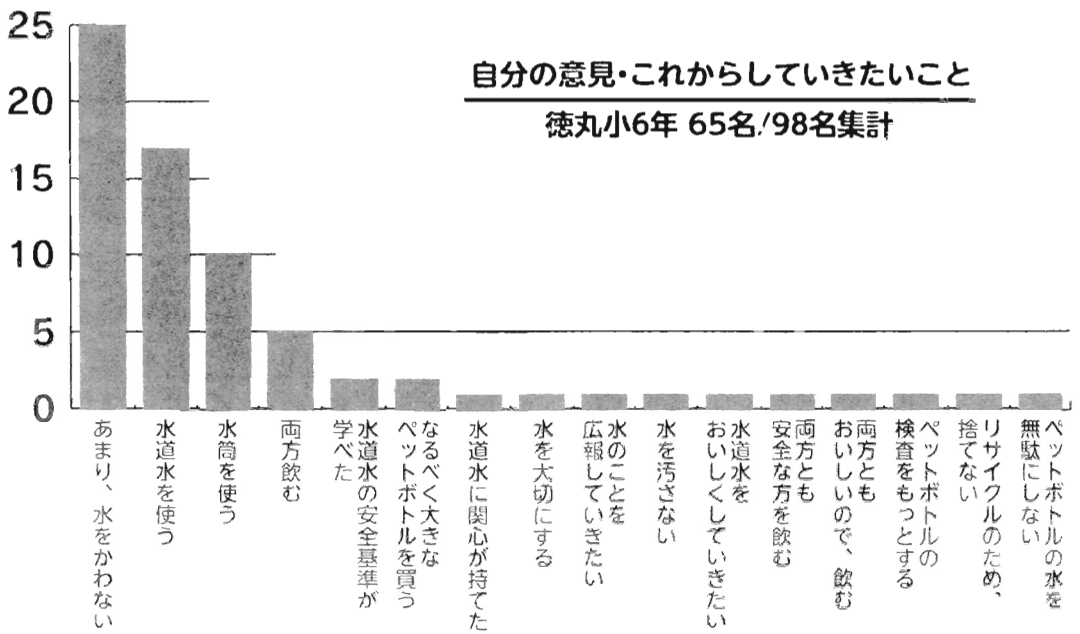
「太陽」「サクランボ」「チューリップ」「かんらんしゃ」「カブトムシ」
自分が感じたままの発想でつくったよ!

くるみ保育園園児
於 赤塚公園 3/27



区立くるみ保育園の5歳児と4歳児計44名が、赤塚公園で、プログラム「イチョウの精、キロリの不思議なのり」で楽しく活動しました。(3頁へ続く)

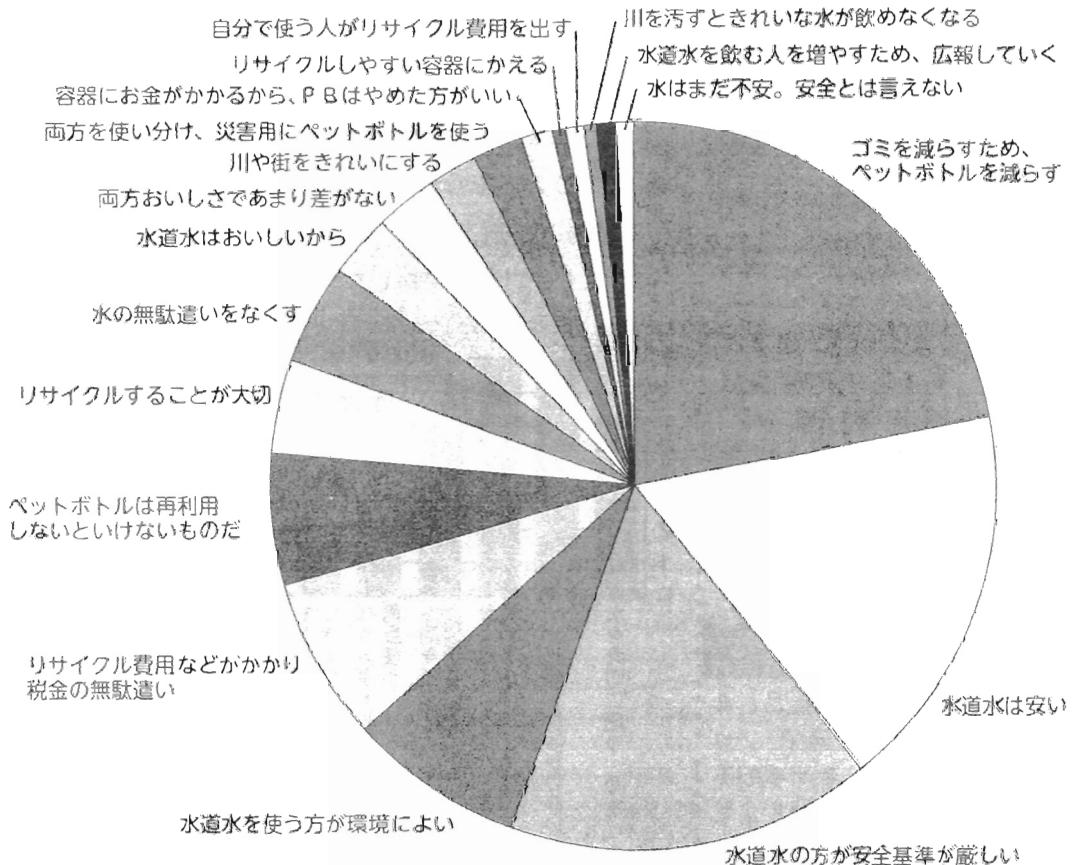




これらの、考えの根拠、理由も子どもたちはきちんと語ってくれた。以下、総合した形ではあるが、2校の分を複数回答も含め、まとめた

考えの根拠・理由(複数回答)

赤塚新町小・徳丸小



実は水は、最後にのせた意見のように、努力をしてもきれいにできない事態が起こった時、どうするのかという問題も残されている。(事実、昨年あった。) とりあえず、2012年4月の現状は、水道水に関して放射性物質の検出は不検出となっている。今回子どもたちは、鋭い感性で、問題を見つけてくれたことは、この国の未来に希望を抱かせる「知性」を感じさせるものであった。子どもたちが、今後学び続ける中で、いのちの元、飲み水の問題をさらに深めていく市民に育ってほしいと思う。(統計・文責 SOE 寺田)

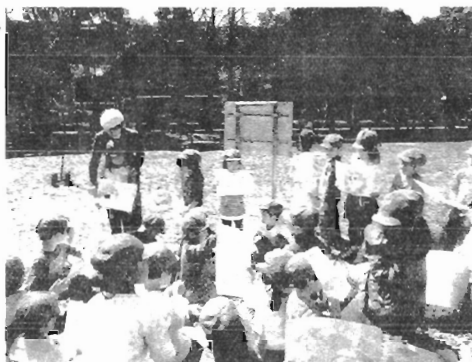
*

《先生方の感想》 赤塚新町小◎集中して課題に取り組みよく考えていた。まとめや発表もよく頑張っていた。◎話し合いの中で課題を見つけ問題点などを考えることが出来た。◎ペットボトルの水から、安全性やねだん、環境について意欲的に考えていた。◎社会や理科の内容とも関連していてわかりやすかった。◎今後自然エネルギーを考える授業などに取り組んでいきたい。

徳丸小◎集中して話を聞いたり資料やDVDを見たりして真剣に考えていた。◎ワークシートや模造紙の記述の様子から何気なく使っている水について新たな気付きが見られた。◎輸入や外国との関わり、割合など5年の教科の学習や水(4年)の後に行うとよいと思った。◎未来志向のエネルギー教育、発電と環境というようなものをやってみたい。

.....
(1頁下からの続き)

イチヨウの精のお話紙芝居を読み、途中でイチヨウの葉で工作。公園の地面に大きなシートを敷き、全員の子どもたちが座り込んで、何枚もイチヨウの葉(今回は紙製)を使って、思い思いの想像をめぐらせていきました。



《くるみ保育園の先生方のメッセージ》

正木真奈美先生・植木久美子先生「子ども達に親しみのあるオニゴッコをとりいれたり、紙芝居を見ることで楽しく参加。イチヨウの葉を使った活動を楽しみイチヨウの木に興味を持てた。色々なものに見立てる楽しさ。楽しい企画だった。異年齢の友だちとペアになったので年長組がお世話をする姿もあり、2人で協力しながら楽しめた。帰り際もいろいろな木を見て「~のような顔だね」など興味が出ていた。自然を使った遊びに親しみを感じていた。」

金井節子先生・鬼沢先生「3回目なので、わかりやすく楽しむことが出来た。子どもたちの創造力が広がった。4・5歳のペアで楽しめた。自然に対して細かい気付きが出来るようになった。保育士もとても勉強になり、参考にしたいと思いました。スタッフの人数も多く、丁寧に見てあげられたのがとてもよかったです。」

池田園長先生「今回は年度末と重なり、私自身が参加できなかったのはとても残念でした。寺田先生にいつも言っていただく言葉で心に残るものがあります。“くるみ保育園の子ども達の感想の言葉が子どもらしく個性的で、とてもいいですね。”とてもうれしく思っています。感性・個性・独自性を大切にやっていきたいです。」



子ども達の木のリースを見せる
池田早苗園長先生

《くるみ保育園 出前授業スタッフの感想》

◎**日本女子大4年 桑原奈美** 今回、イチヨウの葉を使い、画用紙に貼って好きなものを作る場面が印象的でした。A君はいきなり葉をそのまま貼りだしたので“何を作っているの？”と聞いたら「みんなのわらい顔だよ。みんなに名前があるの。」「これは〇〇ちゃんこれは〇〇くん」と言って目をキラキラさせながら答えてくれました。そして、私は“何かを作ってください。”と言われたら、そのまま貼る = 何かを作ることにつながっていくという考えが出来ないけれど、子どもたちは素直に思いつくままに葉を貼り、その中に自分の豊かな感性を表現していてすごいなあと思いました。そして、A君はとっても思いやりがあって友達思いの優しい子なんだなあとてもうれしい気持ちになりました。大切な感性を伸ばしていくためには、私のような大人が子どもたちに寄りそい、いっしょに共感してあげることが本当に大切だと実感しました。



◎**日本女子大学2年 井上美聡** 初めて「イチヨウの精キロリの不思議ないのり」のプログラムに参加させていただきました。明るく元気いっぱいの子もたちが、おにごっこで思い切り体を動かしたり、イチヨウの絵の創作活動で自分のイメージをのびのびと表現したりする姿が印象的でした。イチヨウの葉の形や色みを考え、組み合わせると、「クローバーみたい!」「観覧車つくる!」等、子どもならではの発想・つぶやきに出会いました。身近な自然の不思議さや面白さに気づくことは、子どもたちの豊かな想像力・表現力を育むことにもつながると感じました。



つくった木の顔どう?

◎**SOEスタッフ 柳 栄吉** くるみ保育園は3回目である。この保育園児たちはカブトムシ、太陽、チューリップ、象など、他人のまねをすることなく一人ひとりちがった形のものを創っていた。園長先生の日頃の自然教育の思いが子どもたちに伝わっているため、自然に対する感性が豊かであった。

S・O・E 活動報告 3月

S・O・E 活動予定 4月

日 曜	内容
1 木	放射線に関する小中用プログラム作成 (~3日 まで)
6 火	小桜保育園5歳児たからさがし雨天延期
7 木	SOEニュース原稿起こし・割り付け (~8日 まで)
11 日	SOEニュース74号発行作業・ワーク
15 木	徳丸小6年3クラスペットボトルの水
22 木	くるみ保育園打合せ
24 土	SOEスタッフ大学卒業記念会
27 火	くるみ保育園4・5歳児イチヨウの精キロリの不思議ないのり実施

日 曜	内容
1 日	SOEワークショップ
2 月	インターンシップ大学へ申し入
3 火	SOEニュース原稿まとめ
4 水	原稿起こし・割り付け (~5日)
8 日	SOEニュース75号発行
21 金	12アースデイ準備
21 土	アースデイ出店 於神宮の森 (~22日)
23 月	SOE総会準備 (~当日まで)
29 日	SOE総会 於 前野ホール

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp